

---

# 短編「偶然の再会」

鳥海 ドゥンガ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

短編「偶然の再会」

### 【ZPDF】

Z8797F

### 【作者名】

鳥海ドゥンガ

### 【あらすじ】

サラリーマンのY岡が駅の中を歩いていたところ、正面から見覚えのある男が！

ある日の夜、サラリーマンのY岡は、帰宅する人々で混み合つ駅の中を歩いていました。

ああ今日も疲れた。ウチに帰つてビールでも飲もう、などと考えながらぽんやりとコンコースを歩いていると、正面からどこか見覚えのある男が歩いてきます。

疲れた脳ミソをフル回転させて記憶を掘り起こしていくと、ちょうど十年前、大学四年の時に同じゼミにいた男を思い出しました。個人的な深い付き合いこそ無かつたものの、共同で課題に取り組んだりしていたので、当時は割りとよく話をした仲でした。

（学生の時よりも少し太つたみたいだな。あと、記憶よりも背が低いように見えるけど···まあ十年も前だから記憶もあやふやだ。名前も思い出せないし···なんていつたつけなあ）

名前を思い出そうと、じーっと男の顔を眺めていると、その男と目が合いました。

Y岡は（向こうもオレに気づいたみたいだな）と思い、距離が近づいたところで声をかけました。

「よう久しぶり！」

「え？？」

男は少し驚いています。

「オレだよY岡だよ！」

「Y岡？」

「ほら、大学のゼミで一緒にいたY岡だよ」

一瞬の沈黙があった後、男は手のひらをぽんと叩きました。

「あーY岡ね！Y岡だ！久しぶりだなあ、元気？」

「元気元気！毎日やりたくない仕事を一生懸命やつてるよ、

「あはは、オレも同じだ」

「たしか卒業後は自動車メーカーに就職したんだっけ？」

「いや、オレは家電メーカーだよ」

「ああそうだったな。悪い悪い、なんせあの時からもう十年たつてるから記憶があやふやでわ」

「そうだよなー。今年でまる九年、ほぼ十年だもんなー」

「そう言えばー」三年前かな、結婚したって聞いたけど?」

「そなんだよ、去年ついに結婚してわ。来月、子供も生まれるんだよ」

「そうなのかーおめでとうー。」

「ありがとう。Y岡は結婚は?」

「いやー、オレは全く予定なしだよ」

「そうかー、まあ結婚で良くも悪くもだしねー」

「やっぱそういうもんなんだ」

一人は近況報告やちょっとした仕事のグチなどを当たつさわつの範囲で話して、その場を別れました。

Y岡は別れた後、ホームで電車を待っている時にさつきの男の名前を思い出しました。

「あ、Z嶋だ。そうだそうだZ嶋Z嶋。今、完璧に思い出した」思い出したところで電車がやって來たので、Y岡はそれに乗りました。

荷物を網棚に置き、つり革を掴むと、後ろからぽんぽんと誰かがY岡の肩を叩きます。

Y岡が振り向きます。

「よおY岡久しぶりー!オレだよZ嶋だー!大学のゼミで一緒だつたZ嶋だよ!覚えてるか?」

おしまい

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8797f/>

---

短編「偶然の再会」

2011年10月5日03時02分発行